

しめのひとこと

志免町のいろんなひと、いろんなことをお伝えします！

31

ホームページ
活用中!!

IT化と町内会活動

志免四町内会

佐藤一男 (さとう かずお) 会長

志免四町内会は、公共施設やお店が多くて生活に便利な地域にある、町で3番目に住民の多い町内会です。

自主防災・防犯会を組織し、防災訓練や防犯パトロールを実施。また、世代間交流行事や、子育てサロン、新入生歓迎会や1人暮らしの方を対象にしたバスハイク、石投げ相撲への参加、その他、見守り活動やミニ文化祭、交通安全教室、環境美化活動、資源物回収などを実施しています。



多くの人に情報を届けたい！ 町内会のホームページを開設中

志免四町内会では、ホームページを開設して10年目になります。私が町内会活動に関わってから作り始めました。その頃、ホームページで情報発信をしている町内会は、他になかったと思います。内容の更新作業も、私が担当しています。

作成のきっかけは、公民館の場所を知らない住民の方がいると気づいたことでした。身近な地域の情報をあまり知らないと思われる30代～40代の方々は、情報をスマホから得る世代です。その方たちに地域の公民館を知って欲しい、町内会の行事の内容を知って参加して欲しいと思いました。情報をしっかり届けるために、町内会もWebで発信しようと考え、ホームページを作ることにしました。

ホームページには志免町からの情報を随時掲載しています。「見てますよ」と住民の方から声をいただくこともあります。現在は私は更新作業ができるため苦労せずに発信を続けていますが、今後は誰がこの作業を引き継いでいくのか、課題になると思います。



Web以外にLINEも活用中 Wi-Fi導入の成果が広がる

ホームページ内に役員専用ページを作り、総会資料や各種データにアクセスできるようにしました。会議の際、スマホからすぐに確認できてとても便利です。町内会行事の連絡には、組長向けに公式LINEを活用し、町内会の各部ごとにはグループLINEを活用しています。「メッセージを送る際は、21時まで」とルールを設けて、運用しています。

他にも、公民館に早くからWi-Fiを導入し、町内会で高齢者向けのスマホ教室を6回実施しました。Wi-Fiのおかげで個人の通信費を気にせず、新しいことに挑戦できました。町内会長会議でこの成果をお伝えしたら、他の公民館でも導入したいと声上がり、令和6年度から各公民館にWi-Fiを導入する際は、初期導入費用の一部を町が補助してくれることになりました。町も情報発信に公式LINEを利用していますし、のるーと志免やオンライン講座など、Webを活用した行政サービスが増えていきます。情報を手に入れる手段として、Webを活用できると良いですね。



志免四だよりも発行中 関わる人が多いが高齢化も顕著

町内会ではA3カラーの「志免四だより」おたよりを回覧版で130部作成しています。Webでも同じ情報を発信し、地域の情報をもっと届けたいと思いつけています。現在の役員は25名おり、他にも例をあげると組長29名、婦人部21名、さらに環境部員や青少年指導員、子どもたちの地域サポーターなど、多くの住民が町内会運営に関わっています。役員の高齢化や、同じ人が長く務めていて、次の役員のなり手がいないなど、課題は常にあります。情報を発信し、活動を知っていただいた上で、子育て世代の方に、もう少し関わってもらえる工夫をしたいですね。



コロナ禍でも行事を実施 その工夫とは

コロナの時期は、開催できる方法を模索して、実行できる形に変化させて実施しました。町内会の総会では、100名ほど参加するので、密を避けるためにハイブリッドオンライン総会に挑戦しました。

1階と2階をカメラとマイクをつなぎ双方向にやり取りできるようにしました。また、オンラインの活用として、各部の事業報告は、紙を見てただ読み上げるのはやめて、写真や動画をスクリーンに映し、読み上げにAI音声を導入しました。ほかにも、秋のミニ文化祭は、作品が集まらず困っていたら、役員会から新しいアイデアがでて企画を変更し、じゃんけんゲーム「負けるが勝ち」を屋外で実施できました。皆さんのアイデアに感謝しています。

町内会では、お一人暮らしの方に、福祉部の見守り活動ボランティア20名ほどで、ふれあいだよりを月に一回お届けし、お誕生月には特別にカードを届ける活動を続けています。また、お一人暮らしの方を対象にバスハイクも実施し、大変喜ばれています。町内会では、役員の方々に年間行事を楽しんでしましよと伝えていきます。運営を担う役員が楽しいと、参加者も楽しいと思うからです。



▲昨年のバスハイクの様子（志免四町内会提供）



知っていますか 見えない共助と私たちの暮らし

町内の消防団、災害時の見守り活動、資源物回収、安全安心、生活環境、福祉の向上につながる多くのことが町内会費で運営されています。防犯灯も志免町では町内会費で維持しており、子どもや高齢者の見守り活動を含め、さまざまな活動が町内会の人たちの支え合いによって成り立っています。決して当たり前ではなく、町内会によるさまざまな取り組みが一助となり、住民の方々が穏やかな日常を過ごすことができていることを、もっと知って欲しい。町内会からのお知らせには地域の情報がつまっています。行事を通じて、ご近所同士、挨拶ができるぐらいに知り合うきっかけになって欲しいです。

昨年は町内会で3件の孤独死がありました。見守りをしていただけに気づけなかった。今は個人情報保護の観点から、連絡先確認や個人の特定が難しい時代になっています。だからこそ、日頃の声かけや助け合える関係性が力を発揮します。意識して関係性を作っていけたらと思います。



取材を終えて

関わる人や世代の多い町内会では、情報伝達手段としてWebも活用すると、効果がありそうです。世代による町内会活動への意識や認識の差がとても大きく、その解消のために、情報をしっかり届けて、参加を促したいという気持ちが伝わりました。

